



令和4年1月11日
内閣府政策統括官
(政策調整担当)

「令和3年子供の生活状況調査の分析報告書」の訂正について

「令和3年子供の生活状況調査の分析報告書」については、調査・集計を外部に委託し、内閣府において公表しましたが、誤りがあったことから、下記のとおり、訂正いたします。皆様には、大変ご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

- 訂正範囲：P3 本文
P4 本文
P8 本文
P9 本文
P18 表 1-3-6
P56 図 2-1-7-18
P65 本文及び P65 図 2-2-1-15
P67 本文及び P68 図 2-2-2-3
P109 本文
P123 図 2-4-2-15
P194 表 pq23b (下表)
P208 表 cq15
P367 表 (1) 及び (2)

- 訂正内容：別紙のとおり

※このほか、あわせて、表記の修正、適正化を行っています。

内閣府子どもの貧困対策担当ホームページに訂正後の内容を掲載しております。
<https://www8.cao.go.jp/kodomonohinkon/chousa/r03/pdf-index.html>

<本件連絡先>

内閣府政策統括官(政策調整担当) 付
参事官(子どもの貧困対策担当)：手倉森
参事官補佐：大澤
(直通：03-6257-1438)

① P3本文

誤

「衣服が買えなかった経験」が「あった」とする割合は、全体では 16.3%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 23.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 37.7%、「ひとり親世帯」全体では 30.3%、「母子世帯」のみでは 32.1%であった。



正

「衣服が買えなかった経験」が「あった」とする割合は、全体では 16.3%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 23.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 45.8%、「ひとり親世帯」全体では 38.9%、「母子世帯」のみでは 41.0%であった。

② P4本文

誤

母親が働いていない理由として「自分の病気や障害のため」と回答した割合は、全体では 12.6%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 15.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 30.0%、「ひとり親世帯(母子世帯)」では 37.5%であった。



正

母親が働いていない理由として「自分の病気や障害のため」と回答した割合は、全体では 12.6%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 15.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 30.0%、「ひとり親世帯(母子世帯)」では 31.8%であった。

③ P8本文

誤

クラスのなかでの成績について「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた割合は、全体では 34.0%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 36.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 52.0%、「ひとり親世帯」全体では 50.1%、「母子世帯」のみでは 49.3%であった。



正

クラスのなかでの成績について「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた割合は、全体では 33.0%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 36.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 52.0%、「ひとり親世帯」全体では 50.1%、「母子世帯」のみでは 49.3%であった。

④ P9本文

誤

「大学またはそれ以上」と回答した割合は、全体では 49.7%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 38.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 28.0%、「ひとり親世帯」全体では 34.4%、「母子世帯」のみでは 34.8%であった。



正

「大学またはそれ以上」と回答した割合は、全体では 49.7%であったのに対し、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 38.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では 28.0%、「ひとり親世帯」全体では 34.7%、「母子世帯」のみでは 35.2%であった。

⑤ P18 表 1-3-6

誤

表 1-3-6 ふたり親・ひとり親世帯それぞれの祖父母との同居の有無

		父母以外の同居者なし	祖父母と同居	祖父母以外の者と同居	不明・無回答等	計
ふたり親世帯	件数	2,083	258	5	12	2,358
	割合	88.3%	10.9%	2.1%	0.5%	100.0%
ひとり親世帯	件数	257	74	8	1	340
	割合	75.6%	21.7%	2.4%	0.3%	100.0%
不明・無回答等	件数	5	7	1	4	17
	割合	29.4%	41.2%	5.9%	23.5%	100.0%
全体	件数	2,345	339	14	17	2,715
	割合	86.4%	12.5%	0.5%	0.6%	100.0%



正

表 1-3-6 ふたり親・ひとり親世帯それぞれの祖父母との同居の有無

		父母以外の同居者なし	祖父母と同居	祖父母以外の者と同居	不明・無回答等	計
ふたり親世帯	件数	2,083	258	5	12	2,358
	割合	88.3%	10.9%	0.2%	0.5%	100.0%
ひとり親世帯	件数	257	74	8	1	340
	割合	75.6%	21.7%	2.4%	0.3%	100.0%
不明・無回答等	件数	5	7	1	4	17
	割合	29.4%	41.2%	5.9%	23.5%	100.0%
全体	件数	2,345	339	14	17	2,715
	割合	86.4%	12.5%	0.5%	0.6%	100.0%

誤

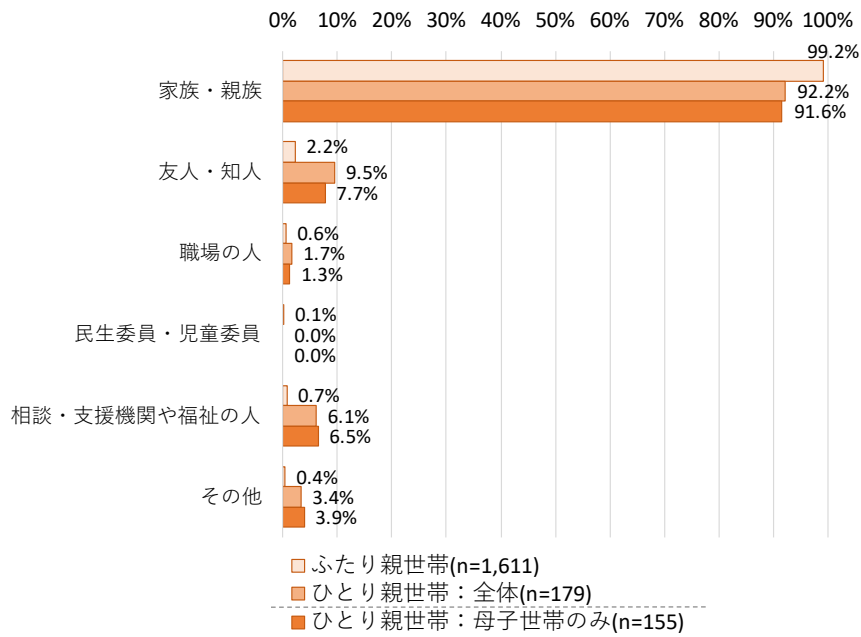


図 2-1-7-18 世帯の状況別、いざという時のお金の援助に関して頼れる相手



正

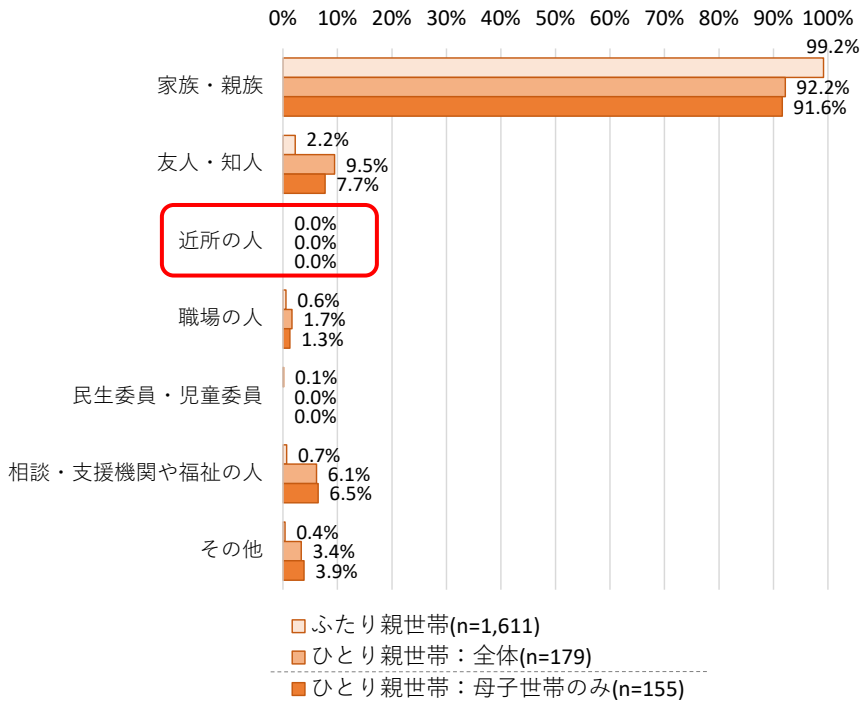


図 2-1-7-18 世帯の状況別、いざという時のお金の援助に関して頼れる相手

⑦ P65 本文及び P65 図 2-2-1-15

差し替え前

授業がわからなくなった時期については、「小学1・2年生のころ」が 3.0%、「小学3・4年生のころ」が **6.9%**、「小学5・6年生のころ」が **17.9%**、「中学1年生のころ」が **50.6%**、「中学2年生になってから」が 21.7%となっている。

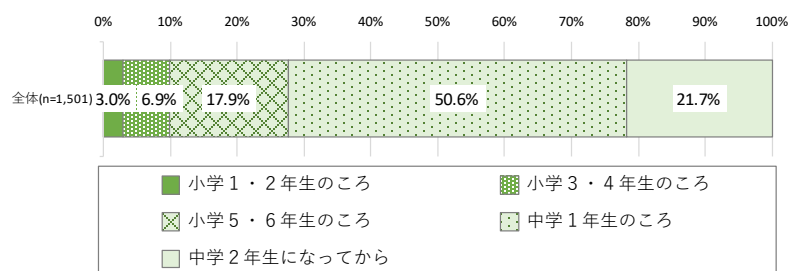


図 2-2-1-15 授業がわからなくなった時期



差し替え後

授業がわからなくなった時期については、「小学1・2年生のころ」が 3.0%、「小学3・4年生のころ」が **6.8%**、「小学5・6年生のころ」が **17.8%**、「中学1年生のころ」が **50.5%**、「中学2年生になってから」が 21.7%となっている。

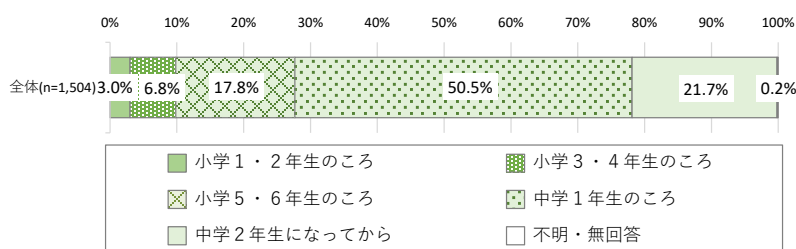


図 2-2-1-15 授業がわからなくなった時期

⑧ P67 本文及び P68 図 2-2-2-3

差し替え前

世帯の状況別にみると、「大学またはそれ以上」の回答割合は、「ふたり親世帯」では **51.8%**、「ひとり親世帯」全体では **34.4%**、「母子世帯」のみでは **34.8%**となっている。

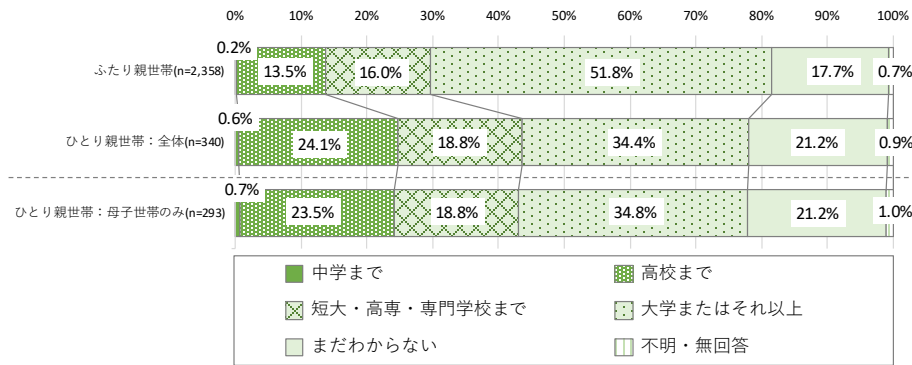


図 2-2-2-3 世帯の状況別、進学したいと思う教育段階



差し替え後

世帯の状況別にみると、「大学またはそれ以上」の回答割合は、「ふたり親世帯」では **52.2%**、「ひとり親世帯」全体では **34.7%**、「母子世帯」のみでは **35.2%**となっている。

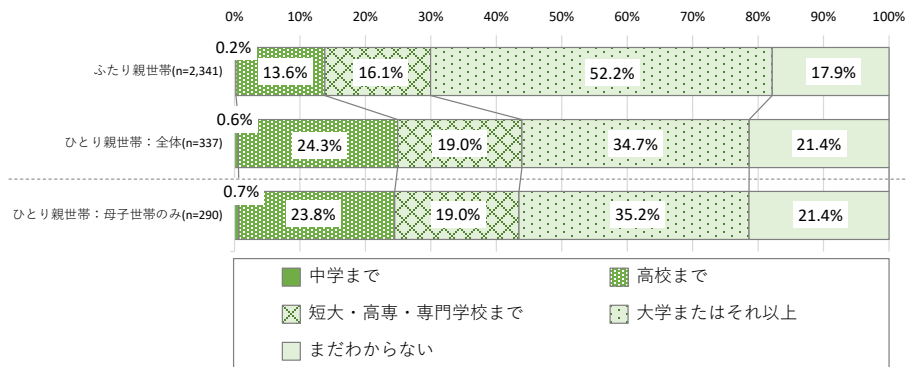


図 2-2-2-3 世帯の状況別、進学したいと思う教育段階

⑨ P109 本文

誤

支援制度の利用状況について、「就学援助」や「児童扶養手当」に関しては、「現在利用している」の割合が約1割、「生活保護」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「母子家庭等就業・自立支援センター」について「現在利用している」の割合は**全体の1%程度**となっている。



正

支援制度の利用状況について、「就学援助」や「児童扶養手当」に関しては、「現在利用している」の割合が約1割、「生活保護」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「母子家庭等就業・自立支援センター」について「現在利用している」の割合は**1%以下**となっている。

誤

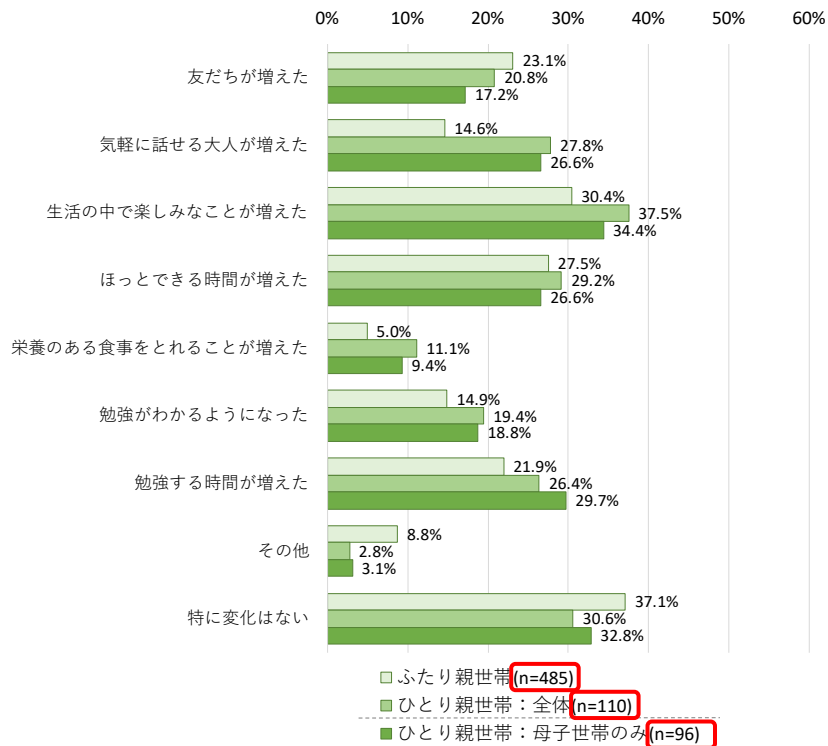
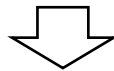


図 2-4-2-15 世帯の状況別、支援制度・居場所等の利用による変化



正

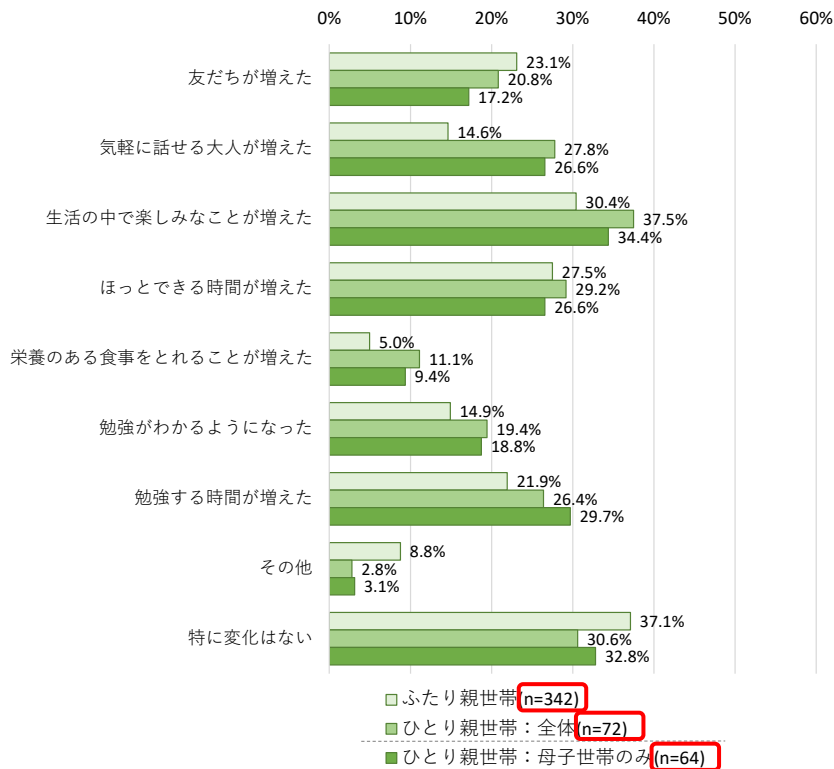


図 2-4-2-15 世帯の状況別、支援制度・居場所等の利用による変化

⑪ P194 表 pq23b(下表)

誤

pq23b あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前(2020年2月以前)から比べて、どのように変わりましたか。/b.生活に必要な支出の変化

	件数			割合			割合(除く不明・無回答)		
	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ	ふたり親世帯 N=2,358	ひとり親世帯 N=340	母子世帯のみ N=293	ふたり親世帯 N=2,336	ひとり親世帯 N=335	母子世帯のみ N=291
増えた	56	9	175	41.2%	57.9%	59.7%	41.6%	58.5%	60.1%
減った	757	117	19	8.4%	6.8%	6.5%	8.4%	6.8%	6.5%
変わらない	1,523	209	97	49.4%	34.4%	33.1%	49.9%	34.7%	33.3%
不明・無回答	22	5	2	1.0%	0.9%	0.7%	-	-	-
全体	2,358	340	293	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



正

pq23b あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前(2020年2月以前)から比べて、どのように変わりましたか。/b.生活に必要な支出の変化

	件数			割合			割合(除く不明・無回答)		
	ふたり親世帯	ひとり親世帯	母子世帯のみ	ふたり親世帯 N=2,358	ひとり親世帯 N=340	母子世帯のみ N=293	ふたり親世帯 N=2,334	ひとり親世帯 N=337	母子世帯のみ N=291
増えた	972	197	175	41.2%	57.9%	59.7%	41.6%	58.5%	60.1%
減った	197	23	19	8.4%	6.8%	6.5%	8.4%	6.8%	6.5%
変わらない	1,165	117	97	49.4%	34.4%	33.1%	49.9%	34.7%	33.3%
不明・無回答	24	5	2	1.0%	0.9%	0.7%	-	-	-
全体	2,358	340	293	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑫ P208 表 cq15

誤

cq15/情緒の問題

	中央値以上 N=1,309	中央値2分の1以上中央値未満 N=954	中央値2分の1未満 N=344
平均値	3.23	3.43	3.84
標準偏差	2.49	2.58	2.67

cq15/情緒の問題

	ふたり親世帯 N=2,336	ひとり親世帯 N=335	母子世帯のみ N=290
平均値	3.36	3.71	3.76
標準偏差	2.59	2.56	2.56



正

cq15/情緒の問題

	中央値以上 N=1,309	中央値2分の1以上中央値未満 N=954	中央値2分の1未満 N=334
平均値	3.23	3.43	3.84
標準偏差	2.47	2.58	2.67

cq15/情緒の問題

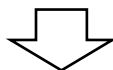
	ふたり親世帯 N=2,336	ひとり親世帯 N=335	母子世帯のみ N=290
平均値	3.36	3.71	3.76
標準偏差	2.54	2.56	2.56

⑬ P367 表(1)及び(2)

(1) 全国学力・学習状況調査

誤

	全国学力・学習状況調査 (平成 29 年度)		令和 2 年度 子供の生活 状況調査
	割合	割合 (不明除く)	割合 (不明除く)
200 万円未満	5.8	6.3	5.7
200～300 万円未満	7.4	8.0	7.2
300～400 万円未満	10.1	10.9	9.5
400～500 万円未満	11.7	12.6	12.4
500～600 万円未満	12.4	13.4	12.5
600～700 万円未満	11.6	12.5	10.7
700～800 万円未満	10.5	11.3	11.5
800～900 万円未満	6.9	7.4	7.3
900～1,000 万円未満	5.7	6.1	7.9
1,000 万円以上 1,200 万円未満	6.2	11.7	15.6
1,200 万円以上 1,500 万円未満	2.8		
1,500 万円以上	1.9		
不明	7.2	—	—



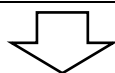
正

	全国学力・学習状況調査 (平成 29 年度)		令和 2 年度 子供の生活 状況調査
	割合	割合 (不明除く)	割合 (不明除く)
200 万円未満	5.8	6.3	5.7
200～300 万円未満	7.4	8.0	7.1
300～400 万円未満	10.1	10.9	9.5
400～500 万円未満	11.7	12.6	12.3
500～600 万円未満	12.4	13.4	12.4
600～700 万円未満	11.6	12.5	10.8
700～800 万円未満	10.5	11.3	11.4
800～900 万円未満	6.9	7.4	7.3
900～1,000 万円未満	5.7	6.1	7.8
1,000 万円以上 1,200 万円未満	6.2	11.7	15.6
1,200 万円以上 1,500 万円未満	2.8		
1,500 万円以上	1.9		
不明	7.2	—	—

(2) 21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）

誤

	21世紀出生児縦断調査 （平成13年出生児） （平成27年第14回調査）		令和2年度 子供の生活 状況調査
	割合	割合 （不明除く）	割合 （不明除く）
200万円未満	5.0	5.1	5.7
200～400万円未満	11.5	11.8	16.7
400～600万円未満	23.3	24.0	24.8
600～800万円未満	23.9	24.6	22.2
800万円以上	33.4	34.4	30.8
不明	2.9	—	—



正

	21世紀出生児縦断調査 （平成13年出生児） （平成27年第14回調査）		令和2年度 子供の生活 状況調査
	割合	割合 （不明除く）	割合 （不明除く）
200万円未満	5.0	5.1	5.7
200～400万円未満	11.5	11.8	16.6
400～600万円未満	23.3	24.0	24.7
600～800万円未満	23.9	24.6	22.2
800万円以上	33.4	34.4	30.8
不明	2.9	—	—